1. Program Title	THIRD プログラム [Field Capstone]
2. Professor	近藤 祐一
3. Activity site	タイ
4. Academic Year	2019 年
5. Period in which program is offered.	秋セメスター
6. Subject	特殊講義(APS 専門教育科目)
7. Language	英語
8. Credits	2 単位 上限登録単位数に含む。
9. Overview	この授業では THIRD の前半の「タイの社会と文化」、「東南アジアとタイ」および「言語学習」を元にバンコク以外の地方都市において調査実習を行い、社会と文化についてさらに深い理解を行う。THIRD 後半のバンコクでのインターンシップの準備として座学・マヒドン大学キャンパスでの短期の留学体験をまとめる科目としていちづける。
10. Standard of Completion	・特定の課題(派遣ごとに設定されるテーマ)について講義による学問的なア プローチと実習を関連づけることができる。
	・アジア太平洋の文化社会について学部での学習事項と関連づけることができ る。
	・テーマに沿った現地での活動に必要な知識を応用し、それを将来的に活かす 道筋を見つけることができる。
	・世界を変えるチェンジエージェントとしての基本的な知識・態度・スキルを 身につける。
11. Teaching Method	学生はまず、これまで履修した授業やタイでの留学体験を元に自分の興味に従い調査トピックを設定し、現地での調査方法について(直接観察、学んだ言語を元にしたインタビュー、質問紙調査)や調査ツールの作成を座学で行う。その後地方都市に向かい調査実習を数日にわたって行う。調査実習中は担当教員との討議や、他の参加学生との討議をすることによって、調査方法について、さらには調査の結果分析について詳細な検討を進める。調査結果についてはTHIRD の最後にプレゼンテーションを行い、それをレポートとしてまとめる。
	派遣地については人口 10 万人程度の都市を 1 つ選び、派遣するが、学生には当日まで知らせずに現地での状況に合わせて計画などを調整する力を養う。現地では、住民に対する調査を通じて異文化交流による学びを促進する。
12. Schedule	第1日目(日曜日)(マヒドン大学で行う)
	1 授業導入
	これまでの二つの授業とタイでの生活を含めて、調査トピックのブレーンスト ーミング
	2 調査方法
	学生の調査トピックにあった調査方法についての講義
	3 調査トピックの決定

	学生の調査トピックについて最終の決定を行うとともに、調査方法を決定する
	夕方現地へ移動

	第2日目(月曜日)(現地で授業を行う)
	9 時から 12 時 派遣地についての調査
	4・5 調査トピックと方法の調整
	調査現地に到着後バンコクで決定した項目(トピックや調査方法)について最 終確認を行う。
	現地調査の行動予定を確定し、中間発表(1 回目)を行う。
	第3日目 (火曜日)(現地で活動)
	9 時から 17 時 調査活動(7 時間)
	6 活動の振り返り討議
	第4日目 (水曜日)(現地で活動)
	9 時から 17 時 調査活動(7 時間)
	7 活動の振り返り討議および中間発表(2回目)
	第5日目 (木曜日)(現地で活動)
	9 時から 17 時 調査活動(7 時間)
	8 活動の振り返り討議
	第6日目 (金曜日)(現地での授業後、バンコクへ移動)
	9 調査結果発表についての討議
	最終まとめ期間までの調査の取りまとめ方法についての討議
	最終 THIRD まとめ期間
	10・11 プレゼンテーションおよびフィードバック
13. Method of Grade Evaluation	中間発表(50%)
	最終プレゼンテーション(50%)
14. Requirements for students	前半の授業を受講しているときに常にどのトピックをさらに現地調査で掘り下 げたいかを考え、メモなどを作成することが望まれる。
15. Textbook	THE THE STATE OF CITE OF THE STATE OF THE ST
16. Further readings	
10. Further reautings	
17. Others	
18. Notes	● 募集人数: 20
	● 最少実施人数: 10● 派遣地域安全情報:レベル 1
	"NO DINATIBILITY OF "